

研究の概要

20 21 年 4 月 12 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	培養液へのカルニチン添加がヒト胚発育や出生児に及ぼす影響
代表研究者 (所属・氏名)：	IVFなんばクリニック 山中昌哉
研究の目的：	ミトコンドリアでのエネルギー産生に重要な働きを示すカルニチンを培養液に添加して、受精卵(胚)の発育や妊娠率が改善されるかを検討します。また、出生児の体重などに影響があるかについても検討します。これにより、培養成績が低い患者への培養方法となる可能性があります。
調査データ該当期間：	20 15 年 4 月 1 日 ~ 20 15 年 7 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	体外受精後に正常受精した受精卵(胚)をカルニチンを添加した(または添加しない)培養液で培養後、胚の発育成績(胚盤胞への発育率)、良好胚盤胞の割合、移植後の妊娠率、出生児の体重、などのデータをカルニチンの有無で比較します。
個人情報の取り扱い：	患者年齢、胚の発育成績、妊娠の有無、出生児のデータを扱い、個人が特定されることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6534-8824 研究部門 山中昌哉
備考	